

## 取扱いの趣旨

イソロイシン・ロイシン・バリンの効能・効果は「食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善」とされている。一方で、効能又は効果に関連する注意に、本剤の効果が期待できないため投与を避けるべき患者として、肝性脳症により昏睡度がⅢ度以上、総ビリルビン値が3mg/dL超え、さらに肝臓の蛋白合成能が著しく低下している場合が示されているため、肝硬変のみ、あるいは低アルブミン血症のみといった単独の傷病名に基づく算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】 《令和6年9月30日》

### 296 イソロイシン・ロイシン・バリンの算定について

#### ○ 取扱い

- ① 肝硬変かつ低アルブミン血症に対するイソロイシン・ロイシン・バリン（リーバクト配合顆粒等）の算定は、原則として認められる。
- ② 次の傷病名のみに対するイソロイシン・ロイシン・バリン（リーバクト配合顆粒等）の算定は、原則として認められない。
- |              |            |          |                    |                 |
|--------------|------------|----------|--------------------|-----------------|
| (1) 低アルブミン血症 | (2) C型慢性肝炎 | (3) 慢性肝炎 | (4) 劇症肝炎           | (5) 高アンモニア血症    |
| (6) 肝硬変      | (7) 肝性脳症   | (8) 肝不全  | (9) 慢性肝炎かつ低アルブミン血症 | (10) 肝硬変かつ食道静脈瘤 |

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

イソロイシン・ロイシン・バリン（リーバクト配合顆粒等）の添付文書の効能・効果は「食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善」と示されている。

一方、効能又は効果に関連する注意に「以下の患者は肝硬変が高度に進行しているため本剤の効果が期待できないので投与しないこと。」とあり、以下の患者に「肝性脳症で昏睡度がⅢ度以上の患者」、「総ビリルビン値が3mg/dL以上の患者」、「肝臓の蛋白合成能が著しく低下した患者」と示されている。

以上のことから、イソロイシン・ロイシン・バリン（リーバクト配合顆粒等）について、肝硬変かつ低アルブミン血症に対する算定は原則として認められ、②の傷病名のみに対する算定は原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	高知、奈良、和歌山、宮城、岐阜、青森、岩手、大阪、埼玉、静岡、京都	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	高知、和歌山、宮城、奈良、京都、大阪、埼玉、岩手、岐阜	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	高知、岐阜、青森、奈良、岩手、埼玉、大阪、静岡、京都	〃

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、非代償性肝硬変で浮腫があり、低アルブミン血症を併発している患者であることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2025年2月～2025年7月審査分

該当件数に対する検証結果

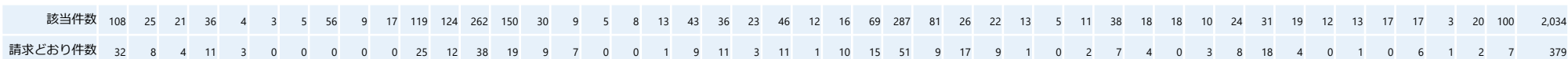
検証の結果、該当件数2,034件のうち、**取扱いと異なる審査は152件（7.47%）**  
検証対象27都道府県のうち、**フォローアップ対象は11都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							請求どおり 詳記等 から適正				
01 北海道	108	103	95.37%	76	0	76	27	5	4.63%	4	1
02 青森	25	21	84.00%	16	1	17	4	4	16.00%	0	4
03 岩手	21	18	85.71%	17	0	17	1	3	14.29%	1	2
04 宮城	36	30	83.33%	23	2	25	5	6	16.67%	6	0
05 秋田	4	4	100.00%	1	0	1	3	0	0.00%	0	0
06 山形	3										
07 福島	5										
08 茨城	56										
09 栃木	9										
10 群馬	17										
11 埼玉	119	103	86.55%	83	11	94	9	16	13.45%	8	8
12 千葉	124										
13 東京	262	251	95.80%	222	2	224	27	11	4.20%	5	6
14 神奈川	150	144	96.00%	127	4	131	13	6	4.00%	2	4
15 新潟	30	28	93.33%	19	2	21	7	2	6.67%	0	2
16 富山	9	9	100.00%	2	0	2	7	0	0.00%	0	0
17 石川	5										
18 福井	8										
19 山梨	13										
20 長野	43	40	93.02%	29	5	34	6	3	6.98%	0	3
21 岐阜	36	30	83.33%	20	5	25	5	6	16.67%	1	5
22 静岡	23	20	86.96%	19	1	20	0	3	13.04%	0	3
23 愛知	46	43	93.48%	35	0	35	8	3	6.52%	3	0
24 三重	12										

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							請求どおり 詳記等 から適正				
25 滋賀	16	15	93.75%	6	0	6	9	1	6.25%	0	1
26 京都	69	61	88.41%	52	2	54	7	8	11.59%	5	3
27 大阪	287	248	86.41%	214	22	236	12	39	13.59%	23	16
28 兵庫	81	78	96.30%	71	1	72	6	3	3.70%	2	1
29 奈良	26	20	76.92%	9	0	9	11	6	23.08%	3	3
30 和歌山	22	18	81.82%	12	1	13	5	4	18.18%	4	0
31 鳥取	13										
32 島根	5										
33 岡山	11										
34 広島	38	36	94.74%	31	0	31	5	2	5.26%	2	0
35 山口	18	17	94.44%	12	2	14	3	1	5.56%	1	0
36 徳島	18										
37 香川	10	10	100.00%	7	0	7	3	0	0.00%	0	0
38 愛媛	24	23	95.83%	15	1	16	7	1	4.17%	0	1
39 高知	31	13	41.94%	11	2	13	0	18	58.06%	4	14
40 福岡	19										
41 佐賀	12										
42 長崎	13										
43 熊本	17										
44 大分	17	16	94.12%	11	0	11	5	1	5.88%	0	1
45 宮崎	3										
46 鹿児島	20	20	100.00%	18	0	18	2	0	0.00%	0	0
47 沖縄	100										
全国	2,034							152	7.47%	74	78

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当

(%)



Change, Challenge, Chance  社会保険診療報酬支払基金  
Health Insurance Claims Payers & Reimbursement Services